

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	図書館情報提供サービス事業			会計	款	項	目	大事	小事
				01	10	05	07	02	56
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	図書・博物館				
施策	3-1	いつでも、どこでも、誰もがができる生涯学習の推進		主管課長	小栗 信一郎				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	図書館を利用する市民	意図	利用者が自宅から資料の検索や予約ができるほか、図書館の行事、レファレンス事例などの必要な情報を得てもらう。
事業内容	パスワードを持つ利用者がどこでも流山市立図書館の蔵書検索、予約、期間延長などを行うことができる。図書館のHPから各種図書館情報の提供をするとともにツイッターやフェイスブックから素早い情報発信をして図書館を生活の身近なものとして親しみをもってもらう。図書館内でパソコンを貸出して検索用インターネットが使用できるようにする。			
事業開始から現在までの状況変化	平成18年度に、利用者がインターネットで蔵書検索や予約ができる現在の図書館電算システムを導入した。平成25年10月の新電算システムの更新に伴い、検索・予約がスマートフォン等の最新携帯キャリアにも対応し、電子書籍への対応、利用者自身による貸出期間延長も可能になった。平成27年11月より中央図書館のフェイスブックを開設した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
		①	ホームページアクセス数	487,036				779,748
②	蔵書検索件数	101,326	798,295	778,908	件	↑↑↑		
③	仮パスワード発行数	1,530	1,856	2,335	件	↑↑↑		
④	Web予約件数	103,005	126,826	149,953	件	↑↑↑		
指標で表すことができない定性的な成果	平成27年4月おおたかの森こども図書館開館により、仮パスワード発行数が前年度比25.8%増となった。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） おおたかの森出張所における、予約資料の受け渡しに係る事務処理については、利用冊数が増加してきたことから、時間的な行き違いが生じないように検討し、端末上で溜め込みリストを作成し対応した。この作業により行き違いがなくなった。平成26年度のおおたかの森出張所における貸出冊数は1日平均30冊であったのに対し平成27年度は1日平均52冊であった。			
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		29,644,310	29,336,170	30,437,717				
事業費(b)(円)		18,814,460	24,853,770	24,662,117				
うち一般財源		18,814,460	24,853,770	24,662,117				
職員給与と費(c)(円)		10,829,850	4,482,400	5,775,600				
人役・職員(人)		1.55	0.60	0.70				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)			0.20	0.30				
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	流山市立図書館システムと4月に開館のおおたかの森こども図書館をネットワークでつなげる。	③取組の課題	図書館から正確で迅速な情報提供をするとともに、誰でもが利用しやすいシステムを構築していく。
②今年度(H27)に実施した取組	流山市立図書館システムとおおたかの森こども図書館をネットワークでつなげた。	④今後の改善計画	次期システム更新に向けて、懸案を精査し常に最新のシステムを目指し、事業の継続・拡充を実施する。